

ケネディクス・リアルティ・トークン ST 所沢物流センター（譲渡制限付） Earnings Report

2026 年 4 月期の決算報告

2026 年 6 月 30 日

総括

- ✓ 固定賃料による安定収入と想定内の費用計上により、1 口当たり分配金を 20,000 円に決定（予想比± 0 円）
- ✓ 2026 年 4 月 30 日時点の鑑定評価額は、13,000 百万円（前期末と同額）

「ケネディクス・リアルティ・トークン ST 所沢物流センター」の概要

ケネディクス・リアルティ・トークン ST 所沢物流センター（以下、「本ファンド」といいます。）は、ケネディクスグループによる、不動産信託受益権の運用による特定受益証券発行信託を活用したセキュリティ・トークンであり、本邦において募集（公募）された「公募型不動産セキュリティ・トークン」です。

第 5 期決算期日である 2026 年 4 月 30 日を迎え、181 日間の運用期間（以下、「当特定期間」といいます。）の運用成績および分配金に関して、下記の通り報告します。

2026 年 4 月期の運用状況

本ファンドの投資対象不動産である ST 所沢物流センター（以下、「本物件」といいます。）は、幅広いテナント業種・規模に対応できる汎用性の高いスペックを有する築浅かつ希少な大規模物流施設（スロープ型）です。設立から 70 年以上の豊富な経験と実績を有する物流事業者と、固定賃料による長期の定期建物賃貸借契約を締結していることから、安定した賃料収入が期待できます。さらに、太陽光発電事業者に対して本物件の屋上部分等を賃貸しています。このような賃貸借契約形態のもと、当特定期間における本物件の稼働率は、全期間を通じて 100%となりました。

2026 年 4 月期においては、上記の長期固定賃料の賃貸借契約を背景に、安定的な運用を継続しました。2026 年 10 月期においても、同様の運用を継続し、分配金の維持を目指してまいります。なお、2026 年 1 月 23 日付「側溝の一部崩落に関するお知らせ」（詳細については当該リリースをご参照ください。）において公表した本物件における復旧工事については、計画どおり進捗し、2026 年 6 月末に完了しました。本件による本ファンドの業績等への重要な影響はありません。

賃貸借の概要^{※1}

主要テナントの名称	株式会社ダイワコーポレーション	業種	倉庫業（冷蔵倉庫業を除きます。）
賃貸借形態	定期建物賃貸借	賃貸面積	33,265.15 m ²
年間賃料	非開示 ^{※2}	敷金・保証金	非開示
賃料改定基準	非開示 ^{※2}	契約期間	非開示 ^{※2}
中途解約	非開示 ^{※2}	賃貸面積比率	100.0%

※1：テナントから開示の同意が得られていないため、一部の項目について非開示としています。

※2：本商品の運用期間(延長期間を含みます。)を超える期間を契約期間とする定期建物賃貸借契約が締結されています。本商品の運用期間中(延長期間を含みます。)は、賃料は固定賃料となっており、原則として賃料改定および解約ができません。

分配金の実績および見通し

2026年4月期における当期純利益は27,622千円、分配金は前期決算報告でお知らせした1口当たり予想分配金と同額の20,000円（うち元本の払戻しは14,909円）となりました。なお、2026年4月期の分配金は、2026年6月30日に支払いが行われる予定です。

2026年10月期の1口当たり予想分配金については、長期かつ固定賃料の賃貸借契約に基づく賃料収入が見込まれることから、本ファンドの前期決算報告でお知らせした20,000円を維持します。また、2027年4月期の1口当たり予想分配金も20,000円を見込んでいます。

鑑定評価額および基準価額

本物件の2026年4月30日時点の鑑定評価額は、13,000百万円となりました。本ファンドの前期決算報告にてお知らせした2025年10月31日時点の鑑定評価額と比較して金額の増減はありません（鑑定評価書の概要データについては[本ファンドのウェブサイト](#)をご参照ください。）。また、本ファンドの2026年4月30日時点の基準価額^{※1}は、5,848百万円、1口当たりの基準価額^{※1}は1,078,115円となりました。

なお、1口当たりの基準価額は、「（総資産額－無形固定資産等＋不動産の含み益^{※2}－負債総額－精算受益権に係る出資額）÷一般受益権口数5,425（口）」により算出しています。

※1：2026年4月に施行された令和7年度税制改正が適用されたことにより、会計上は決算日以降に元本の払戻しを行うため、2026年4月30日時点の基準価額には、分配金のうち、元本の払戻し額が含まれています。

※2：直近鑑定評価額から当期末時点の不動産信託受益権帳簿価額を控除して算出しています。

貸借対照表の概要

(単位：千円)

	当特定期間 (2026年4月30日 現在)
資産の部	
流動資産	
銀行勘定貸	387,399
信託現金及び信託預金	301,088
前払費用	16,179
その他流動資産	122,687
流動資産合計	<u>827,354</u>
固定資産	
有形固定資産	
信託建物	7,913,686
減価償却累計額	△485,797
信託建物（純額）	<u>7,427,888</u>
信託構築物	237,940
減価償却累計額	△13,086
信託構築物（純額）	<u>224,853</u>
信託工具、器具及び備品	270
減価償却累計額	△67
信託工具、器具及び備品（純額）	<u>202</u>
信託土地	4,849,373
有形固定資産合計	<u>12,502,317</u>
投資その他の資産	
長期前払費用	50,342
投資その他の資産合計	<u>50,342</u>
固定資産合計	<u>12,552,660</u>
繰延資産	
創立費	56,497
繰延資産合計	<u>56,497</u>
資産合計	<u>13,436,511</u>
負債の部	
流動負債	
未払収益分配金	27,618
未払消費税等	63,638
未払金	550
未払費用	43,503
前受収益	46,889
修繕引当金	3,222
流動負債合計	<u>185,422</u>
固定負債	
長期借入金	7,500,000
信託預り敷金及び保証金	170,460
固定負債合計	<u>7,670,460</u>
負債合計	<u>7,855,883</u>
元本等の部	
元本	
一般受益権	5,869,985
精算受益権	10
受益権調整引当額(△)	△289,371
元本合計	<u>5,580,624</u>
留保金	
次期繰越利益又は次期繰越損失(△)	3
留保金合計	<u>3</u>
元本等合計	<u>5,580,628</u>
負債元本等合計	<u>13,436,511</u>

損益計算書の概要

(単位：千円)

	当特定期間 (自2025年11月1日 至2026年4月30日)
経常収益	
貸貨事業収入	247,197
受取利息	628
経常収益合計	247,826
経常費用	
貸貨事業費用	121,206
資産運用報酬	25,110
受託者報酬	11,491
会計監査人費用	1,900
融資関連費用	7,745
支払利息	37,135
その他経常費用	15,615
経常費用合計	220,204
経常利益	27,622
当期純利益	27,622

実績および業績予想^{※1※2}

(金額単位：千円)

	2026年4月期 実績	2026年10月期 予想	2027年4月期 予想
経常収益合計	247,826	247,351	247,351
貸貸事業費用	121,206	119,235	118,801
資産運用報酬	25,110	25,110	25,110
受託者報酬	11,491	11,639	11,449
会計監査人費用	1,900	1,900	1,900
融資関連費用	7,745	7,744	7,745
支払利息	37,135	37,545	37,340
その他経常費用	15,615	18,605	17,105
経常費用合計	220,204	221,781	219,451
経常利益	27,622	25,570	27,900
当期純利益	27,622	25,570	27,900
1口当たり分配金(円)	20,000	20,000	20,000
収益の分配(円)	5,091	-	-
元本の払戻し(円)	14,909	-	-

※1：本資料に記載されている予想数値は一定の前提条件のもとに算出した現時点の見込額であり、今後の賃借人の異動等に伴う賃料収入の変動、予期しない修繕の発生等運用環境の変化や借入状況の変化により、収益および費用が変動する場合があります。結果として1口当たり分配金が変動する可能性もあり、その金額を保証するものではありません。また、上記予想と一定以上の乖離が見込まれる場合は、予想の修正を行うことがあります。

※2：金額単位未満の数値は切り捨てて表示しています。

本資料の取り扱いに関して

本資料は、本ファンドのトークン投資に関する情報の提供のみを目的として作成されたものであり、本ファンドの投資対象不動産や特定の商品についての投資の募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません。

本資料には、本ファンドに関する記載の他、第三者が公表するデータ・指標等をもとにアセット・マネージャーが作成した図表・データ等が含まれる場合があります。また、これらに対するアセット・マネージャーの現時点での分析・判断・その他見解に関する記載が含まれる場合があります。

アセット・マネージャーは、金融商品取引法に基づく金融商品取引業者です。

本資料の内容に関しては未監査であり、その内容の正確性および確実性を保証するものではありません。また、アセット・マネージャーの分析・判断等については、アセット・マネージャーの現在の見解を示したものであり、予告なしにその内容が変更又は廃止される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

第三者が公表するデータ・指標等（不動産鑑定評価書に基づくデータを含みます）の正確性について、アセット・マネージャーは一切の責任を負いかねます。本資料の内容には、将来の予想や業績に関する記述が含まれる場合がありますが、これらの記述は本ファンドの将来の業績、財務内容等を保証するものではありません。

今後、本資料の内容に重要な訂正があった場合は、[本ファンドのウェブサイト](#)に訂正版を掲載する予定です。また、本資料と本ファンドの受託者が提出した有価証券届出書等における記載内容に相違がある場合、有価証券届出書等における記載内容を正とします。本ファンドに関するお問い合わせについては、本ファンドのウェブサイトをご利用ください。なお、下記の注意事項に同意頂く必要があります。

- お問い合わせの際に頂いた情報につきましては、アセット・マネージャーからのご回答にのみ利用いたします。詳しくはウェブサイトに掲載の「個人情報保護方針」をご覧ください。
- ウェブサイトにおけるメールフォームからのお問い合わせは、受付時間 <9:00～17:30（土・日・祝日を除く）>内に順次対応いたします。
- お問い合わせ内容（投資対象不動産に係る個別の詳細なご質問等）により、ご回答できない場合があります。
- ご提案やセールス（投資対象不動産の売買に係るご提案等）は受け付けておりません。
- お問い合わせ内容（投資対象不動産のご利用に係るご質問等）により、社内外の関係者へ転送の上、ご対応させて頂く場合があります。
- 十分な回答を差し上げられない可能性があるため、携帯電話メールへのご回答はいたしません。
- 「kdx-sto.com」が受信できるよう予め設定をお願いします。
- メールアドレスに誤りのある場合、またシステム障害の際には、ご返答できない場合があります。
- アセット・マネージャーからの返答はお問合せ頂いた個人宛てに行うものであり、その内容の一部または全部の転用・二次利用はご遠慮ください。